

## 令和5年度男性の家事・育児推進事業 家事・育児実践講座開催報告書

育児・介護休業法の改正により、男性の育児休業取得率が増えることが見込まれますが、単なる「とるだけ育休」にならないようにすることが大切です。

男性が家事や育児に積極的に参加するきっかけを促すことを目的とし、パッククッキング体験などの家事・育児実践講座を県内6カ所で、また、手袋人形作りのワークショップを高松大学・高松短期大学で開催いたしました。

### 《家事・育児実践講座》

#### 【日時・場所】

9月2日(土)	三豊市	つどいの広場サニーハウス	8名
10月1日(日)	さぬき市	津田保健センター	7名
10月7日(土)	高松市	介護老人保健施設 渡の里	14名
11月23日(木)	高松市	おやこひろば ひなたぼっこ	18名
12月2日(土)	坂出市	さかいで子育て支援センター まろっ子ひろば	5名
1月21日(日)	善通寺市	子どもライブラリー	14名

【対 象】 妊娠中を含めた子育て中のご家族

【協力団体】 ・子育て応援 NPO フレンズ・さぬき市社会福祉協議会・西岡医院・いのちの応援舎  
・NPO 法人わははネット・NPO 法人子育てネットくすくす

【参加人数】 のべ66名

ママだけでなく、パパ・プレパパ同士が繋がり、子育て支援団体ともかかわりを持つことで、子育てに積極的に参加できるよう、県内の子育てひろばや子育て支援センター運営団体のご協力のもと、「家事・育児実践講座」を県内各地で合計6回開催しました。



初めに、特定社会保険労務士の植田博司さんによる「パパ・プレパパサポートの制度について」の動画を視聴しました。せっかくある制度も、知らないと活用できません。国の動きとしても、男性も女性も育休を取得しやすくなるように変化していることも感じていただきました。また、この機会を得たことで、まだまだ知らないことがありと分かり、もっと調べてみようと思った、という方もいらっしゃいました。



次は各子育て支援団体の方のファシリテートで、ワークショップです。家事の得意分野、不得意分野を参加者みんなでシェアする疑似体験、夫婦のパートナー自慢、子育て中の「大変な一日」の振り返りなど、どの回も趣向を凝らした内容で大いに盛り上がりました。夫婦でお互いをねぎらう声をかけ、感謝を伝えるとともに、一人で抱えこまず、パートナーを頼ることの大事さを改めて感じた、との感想が多く聞かれました。

そして最後は家事スキルアップとして、パッキングの実践です。講師は一般社団法人パッキング協会ジャパンの池田奈央さん。調理を担当するのはパパ。共同作業でパパ同士の一体感

が生まれます。パパだけで作った料理を家族で味わいながら、相手への感謝を改めて感じたり、言葉にしたりする姿が見られました。



お互いの良さやありがたさは、毎日の生活に追われ、当たり前すぎて、家庭内ではなかなか気づきにくいことかもしれません。ほかの家庭の様子を見たり、ほかの人の意見を聞いたりすることで、改めて気づき、また言葉にすることの大切さを再確認した方が多く、アンケートには、パートナーへの思いやりや感謝の気持ちがつづられたものが多かったのがとても印象的でした。

### 《手袋人形作りのワークショップ》

- 【日 時】 11月11日(土) 10:00~15:00  
【場 所】 高松大学・高松短期大学 3号館(高松市春日町960番地)  
【対 象】 妊娠中を含めた子育て中のご家族、学生の方  
【参加人数】 40名(アンケート回答数)

「家事・育児実践講座 家族で遊ぼう・学ぼう!」と題し、手袋人形作りのワークショップを高松大学・高松短期大学で大学祭のイベントの一つとして開催しました。

初めに、育休制度についての動画を観ていただき、制度を知るとともに、夫婦で助け合いながら、家事育児をすることの大切さを感じていただきました。



その後、夢\*ゆめクラブさんのご協力の下、可愛いオリジナル手袋人形や、タペストリー作りをしました。ワークショップは大盛況で、夢\*ゆめクラブさんに用意していただいた100個のキットがすべてなくなってしまいました。この手袋人形をきっかけに、お子さんとのふれあいを楽しんでいただけたと思います。



高松大学・高松短期大学の学祭は、地域に開かれており、親子、おじいちゃん、おばあちゃん、学生さんなど、とても多くの方にご参加いただき、多世代の交流ができる素敵なイベントとなりました。

